横浜天声キリスト教会　週報　第16巻35号（No.603）　2021年8月29日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　箴言 3:9-10 ・・・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・1番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174番　神の息よ
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア：朴執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　402番　主が「進めよ」と
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 初物を捧げた後に来る大いなる祝福(ヨシュア記 8:1-9)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　71番　みなささげまつり
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

____の財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ。そうすれば、____の倉は満ちて余り、____の酒ぶねは新しい酒であふれる。（箴言 3:5−10）

悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ____はさいわいである。このような____は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。このような____は流れのほとりに植えられた木の／時が来ると実を結び、その葉もしぼまないように、そのなすところは皆栄える。悪しき者はそうでない、風の吹き去るもみがらのようだ。それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。罪びとは正しい者のつどいに立つことができない。主は正しい者の道を知られる。しかし、悪しき者の道は滅びる。（詩篇 1 篇）

ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセが____に命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべて____が行くところで、勝利を得るためである。この律法の書を____の口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、____の道は栄え、____は勝利を得るであろう。（ヨシュア記 1:7−8）

メッセージ概要

前回に続き、ヨシュア記から養いを受けたい。神の民イスラエルが強堅な城塞都市エリコに大勝利できたのは、7日間、**無駄口を閉ざし、100％主の言葉通りに行ったから**だったが、一人の人・アカンが、主に捧げ尽くすべき「聖絶のもの」の一部を盗み、隠したために、イスラエルは、敵の前に立てなくなってしまった。

主から示された通り、アカンを民の中から絶った時、『*主はヨシュアに言われた、「**恐れてはならない、おののいてはならない**。いくさ人を皆率い、立って、アイに攻め上りなさい。わたしはアイの王とその民、その町、その地を**あなたの手に授ける**。』(ヨシュア記 8:1)　滅ぼし尽くすべきものや、隠し持っている罪がある間は、主が共におられる、というセキュリティも、敵のものをあなたに渡す、という確約も、**取り去られた状態**となってしまう。しかし徹底して滅ぼし尽くすべきものを除き去るなら、それらの確約は**再び有効化される**のだ。

『*あなたは、先にエリコとその王にした通り、アイとその王とにしなければならない。ただし、分捕り物と家畜とは**戦利品としてあなた方のものとする事ができる**であろう。あなたはまず、町の後ろに**伏兵を置きなさい**。』(2 節)　今回は、エリコの時とは色々違う点がある。今回は戦利品を自分のものにして良いと言われた。

前回のエリコ攻略の時は、契約の箱をかつぐ祭司の前に兵士たちが配置され、祭司たちは角笛を吹き鳴らしつつ、そして兵士たちは口を閉ざして、町の周りを行進した。それは主の命令がそうだったからだが、それは、世の考えでは到底理解できない戦法だった。しかし彼らは、100%従順した故に、勝利した。

しかし今回、主は、伏兵を置くという世で普通に用いられている戦術で、また、人が納得しやすい方法を指示された。なぜこうも、エリコの時と今回とで違うのか。それは、**「初物」**であるかないかの違いである。

エリコの戦いは、モーセが死んで後、約束の地に入ってから初めて戦う「戦いの初物」であり、その戦術も、100%、神の方法だった。この戦い自体が、人の力・人の知恵なしに、ただ、主の言葉に対する 100%の従順という「主への捧げもの」であり、実際、エリコが滅んだ第七日目は安息日、すなわち、礼拝の日だった。

神の民にとって、初物は、主に捧げるべき捧げものである。主がイスラエルに「初物をささげなさい」と命じられた時、それを手の上のしるしとし、額の上の記章としなさい、とまで言われた(出エジプト記 13:1-15)。その理由は、主が、エジプトの初物（初子）を打って、イスラエルを奴隷の家から救い出されたからだった。

出エジプトの時、エジプトの初物が打たれたように、聖絶すべき初物に手を出したアカンは打たれた。しかし、アカンが絶たれて、主の御約束を守った人だけが残った後には、災いは去り、祝福が戻ってきた。

ダビデの時代のナバルもそうである。ナバルはダビデに対し、恩知らずな事をして侮辱したため、ナバルに属する全ての者達は危うく絶たれそうになったが、アビガイルの執りなしにより、彼らはナバルの罪や愚かさに参加していない事を公に表した結果、主はナバルだけを打ち、アビガイルはダビデ王の妻となった。

3 節以降には、ヨシュアが戦いのために人を選別して適所に配置し、敵がこう動いたらこうしなさいといった詳細な指示と、実際に取った行動が記されている。主がヨシュアに授けた戦術は、「町の後ろに伏兵を置け」という短いものだったが、ヨシュアはそれを受け、具体的な戦法へと落とし込んで、指示し、行動した。

私達も、日常の何から何まで、いちいち主に伺いを立てるわけではない。私達のするべき分は、まず、私達の内から取り除くべき罪や汚れを取り除き、次に、主の言葉どおり行う事である。私達は、方向性が分からない時は、大いに主に伺うべきだが、それがひと度示されたなら、あとは自分達の裁量でそれを行うのだ。

初物をしっかり捧げた後、任された裁量に従って行動するなら、主はその物事を大いに祝福し、勝利と成功をもたらされ、それによって得た利益は、自分のものとして良いのだ。まさに詩篇 1 篇の通りである。

『*悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人は幸いである。このような人は主のおきてを喜び、昼も夜もそのおきてを思う。このような人は流れのほとりに植えられた木の、時が来ると実を結び、その葉もしぼまないように、その為すところは皆栄える。*』(詩篇 1:1-3)

私達も、悪者の道や考え方を捨て去って、むしろ主の教えを喜びとし、昼も夜も、主の言葉を思い巡らすなら、何をしても栄える！しかしアカンやナバルのように、悪をたくらむ者は、正しい人の集いには立てず、風に吹き飛ばされるもみがらのように、主の息吹によって吹き飛ばされ除外されてしまうのだ。(詩篇 1:4-6)

主に初物を捧げ、従順を捧げ、そうして得る収入が大いに豊かにされる皆さんでありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00
食事/フェローシップ　12:30～
English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～
火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～
2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 35 号　　2021 年 8 月 29 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube